

食品のリスクを考えるワークショップ（鹿児島県）－食の安心は食品の安全性とリスクを知ることから－
参加者アンケート集計結果

参加者数	:	24
アンケート回収数	:	21

あなたご自身のことについてお聞かせください。

①性別

回答内容	件数	割合
男性	10	47. 6%
女性	10	47. 6%
無回答	1	4. 8%
計	21	100. 0%

②年齢

回答内容	件数	割合
20歳未満	0	0. 0%
20歳代	0	0. 0%
30歳代	5	23. 8%
40歳代	3	14. 3%
50歳代	6	28. 6%
60歳代	6	28. 6%
70歳代以上	1	4. 8%
無回答	0	0. 0%
計	21	100. 0%

③職業（立場）

回答内容	件数	割合
①消費者団体	2	9. 5%
②主婦・学生・無職	7	33. 3%
③生産者	0	0. 0%
④食品関連事業者・団体	8	38. 1%
⑤マスコミ	0	0. 0%
⑥行政（自治体職員，独法職員）	2	9. 5%
⑦食品関連研究・教育機関	0	0. 0%
⑧その他	2	9. 5%
無回答	0	0. 0%
計	21	100. 0%

その他（）

④意見交換会情報入手手段

回答内容	件数	割合
食品安全委員会HP	1	4. 8%
自治体からのご案内資料	7	33. 3%
食品安全委員会メルマガ	1	4. 8%
関係者からのご案内資料	3	14. 3%
知人からの紹介	3	14. 3%
その他	5	23. 8%
無回答	1	4. 8%
計	21	100. 0%

その他（）

⑤「100%安全な食品はないこと」について，どう思われますか？

回答内容	件数	割合
強くそう思う	9	42. 9%
ややそう思う	6	28. 6%
あまりそう思わない	1	4. 8%
全くそう思わない	1	4. 8%
わからない	3	14. 3%
無回答	1	4. 8%
計	21	100. 0%

問2. 本日のワークショップについて

①ワークショップに参加した目的

回答内容	件数	割合
①放射性物質について理解を深めたかったから	9	42.9%
②放射性物質について自分の意見や考えを話したかったから	1	4.8%
③他の参加者の意見や考えを聞きたかったから	6	28.6%
④これまでにない取組で面白そうだったから	0	0.0%
⑤少人数で相互対話に関心があったから	0	0.0%
⑥国、自治体の行うリスクコミュニケーションについて知りたかったから	4	19.0%
⑦その他	1	4.8%
無回答		0.0%
計	21	100.0%

⑦その他（）

内容を把握しないまま参加し、会場にて知りました。

②どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	2	9.5%
②ほぼ満足	9	42.9%
③あまり満足できなかった	5	23.8%
④まったく満足できなかった	2	9.5%
無回答	3	14.3%
計	21	100.0%

③ ③、④満足できなかった と答えた方に伺います。

満足できなかった点（具体的に）

久保専門官と二瓶参与、西郷係長と長谷川補佐を議会に参考人としてお招きして解消いたします。
やはり最初のワークショップの資料が「安全ありき」で作られている様で、解りにくかったし説明については納得できる物ではありませんでした。鹿児島県が農産物に対して放射性物質の検査をしていないのかと改めて驚きました。
子供達に対する基準が全くわからなかった。
内閣府の方の提起が物足りなかった。 1 国外の基準との関連 2 データ不足 3 汚染食品の判断についての考え方
情報が少ないなかでのワークショップはむずかしいと思います。
グループワーク時、放射能の知識に個人差があり、放射能反対の立場の方がおり、これぞ風評被害と思った。
質問の時間が短い。
食品だけでなく、水の安心・安全対策も必要です。飲料水適否検査はでたら目です。検査依頼者が持参した水について検査していますか。担当者が現地採水すべきです。検査項目も毒物、劇物、細菌についても、0157、0111、鳥インフルエンザ、口蹄疫等についても行うべきです。

問3. 本日のワークショップについてどう思われたか？

回答内容	件数	割合
①評価する	9	42.9%
②まあまあ評価する	6	28.6%
③あまり評価しない	4	19.0%
④まったく評価しない	0	0.0%
無回答	2	9.5%
計	21	100.0%

理由

評価するが、県内の全小学校校区で早急に開催せねば、ガスぬきとなりかねないあやうさがある。
「食品と放射性物質」について国の考えがわかった。国民（市民）の考えとちがうのもわかった。
理解を深めることができた。色々な人の意見を聞くことができた。
申し込み又は申し込み後でもワークショップの資料を送っていただければ前もって準備ができると思う。
様々な意見をお伺いすることが出来大変参考になりました。
市民の声を届ける事ができた（できた様な気がした）のは良かった。ですがこの市民の声、この様にしてほしい等はきちんと活かされるのでしょうか？会議の内容は安心、納得できる物ではなかったので
具体的にわかりやすい。
参加者の考え方が参考になった。
この形式だと意見が反映されるか心配 質疑応答式でもいいのでは？
他人の意見を聞くことが出来る。
生産、流通、加工また消費まで、多くの人々の生の意見が交換できるので有意義だと思う。
質問や要望の機会が少なくなる
このような会が開催される事で、知識をもらえる事が出来ました。
知識の少ない人の中でワークショップは難しい。

問4. 意見交換会の進め方について、意見交換会の全体の印象を通じて感じた印象は？

i. 意見交換会の開催手続きは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	6	28.6%
②そう思う	12	57.1%
③あまりそう思わない	2	9.5%
④そう思わない	1	4.8%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%

ii. 情報提供は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	2	9.5%
②そう思う	12	57.1%
③あまりそう思わない	3	14.3%
④そう思わない	3	14.3%
無回答	1	4.8%
計	21	100.0%

iii. 意見交換の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	11	52.4%
②そう思う	9	42.9%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	1	4.8%
計	21	100.0%

iv. 意見交換時に回答者は質問にきちんと回答していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	5	23.8%
②そう思う	7	33.3%
③あまりそう思わない	6	28.6%
④そう思わない	1	4.8%
無回答	2	9.5%
計	21	100.0%

v. 放射性物質について参加する前に比べ理解が深まった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	7	33.3%
②そう思う	10	47.6%
③あまりそう思わない	2	9.5%
④そう思わない	2	9.5%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%

vi. 自分の食生活に今回のワークショップで知った内容はいかせる

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	4	19.0%
②そう思う	12	57.1%
③あまりそう思わない	4	19.0%
④そう思わない	1	4.8%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%

vii. グループワークの中で、他の参加者の意見を聞き、話をする事は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	4	19.0%
②そう思う	12	57.1%
③あまりそう思わない	4	19.0%
④そう思わない	1	4.8%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見や感想をお書き下さい

長谷川さんのお答えは大変心許ない。情報がなかなかない。わかりづらい、専門的な知識もないでは10月の県政としてはありえません。
○原子力発電所はとってもあぶないと思います。子ども達のために脱原発で。 ○「食品と放射能物質」のワークショップをまたおねがいします。すごく良かったです。
鹿児島県には川内原発があります。今回の放射性物質についての問題は決して他人事ではないと思います。 ① すぐにいつでもどこでも食品検査できる体制づくりを進めて頂きたい。 ② 学校給食でも食品検査ができる体制づくりをして頂きたい。 子供への影響を考えるとすばらしい鹿児島の農産物を守るために子供達を守るためにぜひお願い致します。
食品安全委員会は半年間になにができなかったを反省すべきだと思う。
行政、市民、生産者、小売の方、皆で知恵を出し合って乗り切るべきだと思います。今後も繋がりを持てる企画をお願いしたいです。
川内原子力発電所の近くに住んでおります。又、県食生活改善推進委員の係をしている関係でいつも消費者の立場で気になっているところです。この様な会の開催はこれからも是非続けて欲しいと思います。